

最終チェック

覚えておくべき重要なことは、ヘルメットがぴったりとフィットすることです。
前後に傾けることができる場合は、ストラップの調整を締める必要があります。
ストラップは、耳を覆わず、正しく装着された場合はバックルが頭の骨から離れるように配置する必要があります。
購入者は常にさまざまなサイズを試して選択する必要があります
安心感と快適さを感じるサイズ・ヘルメットが頭にぴったりとフィットすることが重要です
最大限の効果を発揮するには、頭を締め付ける必要があります
ヘルメットを着用するたびにすべての調整をチェックし、常にぴったりとフィットしていることを確認する必要があります。

ヘルメットのお手入れ

ヘッドギアは中性洗剤と水のみで洗ってください。溶剤、塗料、デカルクを使用すると、ヘルメットが損傷し、事故の際にヘルメットが機能しなくなる可能性があります。

ヘルメットを熱に近づけないでください

ヘルメットは65.5°Cを超える温度にさらされると損傷します。
非常に暑い日には、暗い色の車両や保管バッグがこの値を超える場合があります。
熱で損傷したヘルメットには、ランダムに変形した部分があり、質感が泡立って不均一に見えます。損傷した場合は、ヘルメットを破壊し、直ちに交換する必要があります。

新しいヘルメットを使用する前によくお読みください

購入したばかりのスポーツ安全ヘルメットは、道路でも道路外でも保護を提供します。このヘルメットを正しく使用するには、新しいヘルメットを着用する前にこの説明書をよく読んで、その機能、フィット感、お手入れについてよく理解してください。

保護と換気

アウトターシェルにより、このヘルメットは最も軽量なヘルメットの1つと評価されると同時に、優れた耐久性と完全性を提供します。内側の空気通路を備えた複数の通気口が、ヘルメットを通して顔の上に空気を取り込み、最大限の冷却を実現します。

保持システム

このスポーツ安全ヘルメットは、シンプルで調整を変えずにバックルを締めたり外したりできるクイックリリースバックルを使用しています。
ストラップはぴったりと均等に張られている必要があります。ヘルメットを頭にしっかりと置き、バックルを締めます。そのストラップが緩んでいるかに注意してください。

ヘルメットを取り外した後、緩んでいるストラップを締めてください。あごストラップを締めるには、片手でバックルを持ちます。次に、余分なストラップを引き込みます(図Aを参照)。

重要な情報

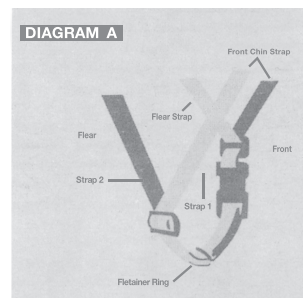
ヘッドギアは、部分的な破壊や損傷によって打撃のエネルギーを吸収するように設計されています。たとえそのような損傷が目に見えなくても、ヘルメットが激しい衝撃を受けた場合には、ヘルメットを破壊するか交換する必要があります。

残念ながら、事故によっては、いかなるヘルメットでも防ぐことができない頭部損傷につながる場合があります。衝撃の種類によっては、たとえ非常に低速であっても、炭液性頭部損傷または死亡につながる可能性があります。常に細心の注意を払って運転し、必ずこの説明書をよく読んでください。

ヘルメットに関する警告

ペダルサイクリスト、スケートボード、ローラースケート用のヘルメット。
これは、モータースポーツや原付バイクの使用中に使用することを目的としたものではなく、適切で安全な保護を提供しません。
あらゆる予期せぬ衝撃からエアアラーを保護できるヘルメットはありません。ただし、最大限の保護を得るには、ヘルメットがしっかりとフィットし、すべての固定ストラップがしっかりと締められている必要があります。

元のコンポーネントのいずれかが変更または削除された場合、ヘルメットは着用者を保護できない可能性があります。
ヘルメットは、使用説明書に記載されている以外のアクセサリを取り付ける目的に適合してはなりません。



後部ストラップを締めるには、ストラップ2の後部から余分な部分を引っ張ります。片手でヘルメットを持ちます。もう片方の手で、あごの下を締めるストラップを持ち、左右に引っ張って4本すべてのストラップの長さのバランスをとります。(図Bを参照)

ヘルメットは頭の上にしっかりと水平に置かれなければならないなりません。(図C参照) 顔を覆うようにヘルメットの前部を下げるには、あご紐を締め、リアストラップを緩めます。前を上げるには、あご紐を緩めます。前を上げるには、あご紐を緩め、後ろの紐を締めます。

適切な張力を確認するには、ヘルメットをかぶってバックルを締めます。口を開けると、ストラップが頭に引っ張られるのが感じられるはずですが。

MetSimp

取扱説明書

次に、ヘルメットを前部または後部から引き抜こうとします。ヘルメットが外れてしまったら、ストラップの張力を高めるためにヘルメットは前方または後方に過度に回転できないようにする必要があります。バックルを緩めずにヘルメットを取り外すことはできません。

サイズ調整システムの締め具合を調整するには、ノブを時計回りに回して締め、反時計回りに回して緩めます。
注: このヘルメットを着用するたびに調整を確認してください。

